



「げんき市」プロジェクト会議のメンバー。ボラ連に加入している団体のほか、出店したり展示ブースを出す人たちが集まって準備を進めています

愛は南から——

愛南町ボランティア連絡会

「たくさんの方のげんきを集めて町を盛り上げていきましょー！」
 「第14回『まちを元気に〜げんき市』」のプロジェクト会議の冒頭、
 愛南町ボランティア連絡会（森岡眞由美会長）の事務局長兵頭朝美
 さんがメンバーを勢いづけます。

2月9日は、2回目のプロジェクト会議。3月の「げんき市」に向け、参加団体の代表16人が集まって、ポスターの確認やイベントの広報について打ち合わせを行いました。

愛南町ボランティア連絡会（ボラ連）には、現在、賛助会員を含めて13団体が加盟し、地域に根ざしたボランティア活動を続けています。ボラ連の活動の柱となっているのが、地域交流センター「プラザじょうへん」の運営管理と「げんき市」の開催です。「げんき市」は、「プラザじょうへん」周辺の空き店舗を、ボランティア活動の発表や交流展示の場として活用することで、街の元気を集め、楽しいスポーツを作り上げて、町の活性化につなげようと、いまから14年前



今年は初めてボルダリング体験ができる展示ブースが出されます

に始まりました。

以来、毎年、新しいことに取り組み、今では世代や活動の分野を越えていろいろな人たちが参画する手作りのイベントとして、すっかり地域に定着しています。

今年初めて「げんき市」にボルダリング体験の展示ブースを出す宇和島山岳会の坂本崇さんは、「ボルダリングは、もともと木登りや岩登りが発祥。気軽に楽しんでもらいたい。年齢制限なし、気持ちさえあればみんな登れますよ」と笑顔。



昨年の「げんき市」の様子

森岡眞由美会長は、「『げんき市』の当日は、たくさんの方に足を運んでもらい、城辺商店街で元気をもらってほしい。また「プラザじょうへん」は、誰でも使える拠点として普段から開けているので、ぜひ利用してほしい」と呼びかけました。

第14回交流フェア 「まちを元気に〜げんき市」

日時 3月18日(日)11時〜14時

場所 城辺商店街矢の町交差点
〜中町交差点

内容 プラザじょうへん周辺商店街において、道を出合いの場所に、また空き店舗を利用して「まちの元気」を紹介する交流まつり。各種展示、体験ブースが登場するほか、オープンカフェやストリートダンスなども行われます。